

事業報告書

平成27年度

(第8期事業年度)

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

I 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の概要

①設立目的

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

②事業内容

- (1) 医療の提供に関すること。
- (2) 医療に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 医療に関する技術者の研修に関すること。
- (4) 医療に関する地域への支援に関すること。
- (5) 災害時における医療救護に関すること。
- (6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

③主たる事務所 酒田市あきほ町30番地

④役員

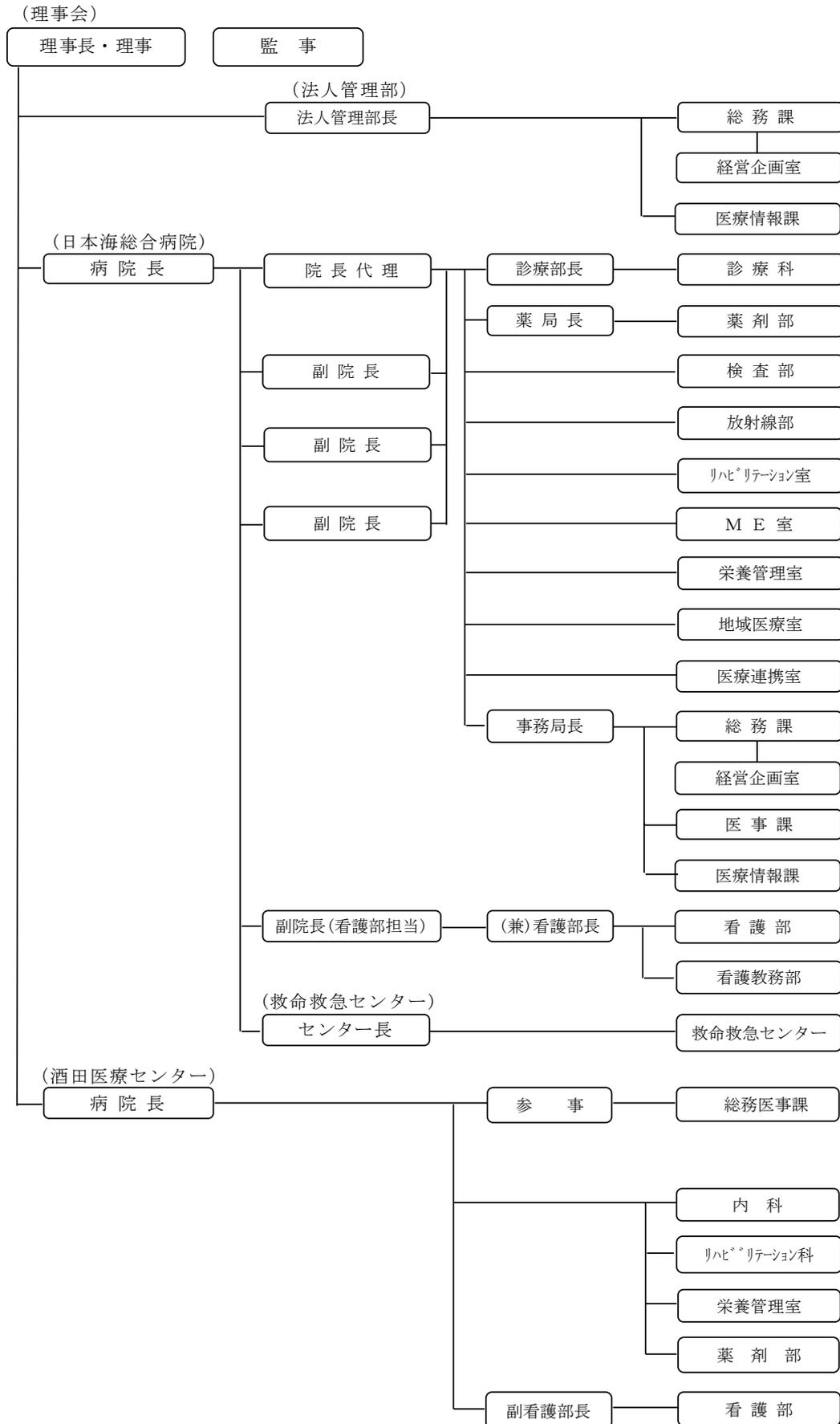
職名	氏名
理事長	栗谷 義樹
理事	鈴木 晃
理事	島貫 隆夫
理事	小熊 正樹
理事	内村 文昭
理事	齊藤 宗一
理事	佐藤 由枝
理事	菅原 司
監事	齋藤 俊勝
監事	加藤 栄

⑤ 設置、運営する病院

日本海総合病院	酒田市あきほ町30番地
日本海総合病院酒田医療センター	酒田市千石町二丁目3番20号

⑥ 組織

組 織 機 構



⑦ 職員の状況

(4月1日現在)

病院 職種	日本海総合病院			酒田医療センター			計		
	H26	H27	増減	H26	H27	増減	H26	H27	増減
医師・歯科医師	141	138	△3	3	3	0	144	141	△3
医療技術員	138	140	2	27	33	6	165	173	8
看護・介護職員	568	570	2	54	53	△1	622	623	1
事務職員	48(11)	46(7)	△2	5	5	0	53(11)	51(7)	△2
スタッフ職員	42(1)	42(1)	0	5	5	0	47(1)	47(1)	0
計	937(12)	936(8)	△1	94	99	5	1,031(12)	1,035(8)	4
法人職員	925	927	2	92	96	4	1,017	1,023	6
県派遣職員	6	6	0	0	0	0	6	6	0
市派遣職員	6	3	△3	2	3	1	8	6	△2

※ () は法人管理部職員数で内数

⑧ 資本金の状況

13,456,376,678円 (平成27年10月1日変更登記時)

◇平成27年度の事業概要

1 診療計画及び診療に関する重点事項等

(1) 診療計画

日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）は、将来にわたり持続可能な経営に向けて努力するとともに、地域医療向上のために以下のような取組みを行った。

①日本海総合病院

地域の中核病院として急性期医療の充実に努め、地域医療支援病院をはじめとする各種指定の病院機能を十分に発揮し、「安心、信頼、高度な医療提供」及び「保健、医療、福祉の地域連携」の基本理念に基づいた医療の提供に努めた。

【日本海総合病院の機能】

許可病床数	646床
診療科 (27科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科
病床の種別	一般病床
併設診療機能	救命救急センター、屋上ヘリポート
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 人工透析 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	診療科全般
その他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

②酒田医療センター

回復期病棟2病棟（79床）、療養期病棟1病棟（35床）で、回復期医療及び療養医療の充実に努めた。

理学療法士等を増員し、休日も休むことなく、リハビリテーションを提供した。

【酒田医療センターの機能】

許可病床数	114床
診療科 (2科)	内科、リハビリテーション科
病床の種別	療養病床
特殊診療機能	地域医療室（地域連携・在宅療養支援など） 通所リハビリテーション（デイケア）
その他	病院間移動用ワゴン車

(2) 診療に関する重点事項

①診療体制の整備

医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、平成27年度は次のとおり診療部門の充実を図った。

a) 救急医療(日本海総合病院)

○救命救急センターの機能の充実を図るため、救急科専門医1名を育成した。

○酒田地区広域行政組合の「酒田救急ワークステーション」との連携強化を図り、当該組合の要請によって引き続き医師及び看護師が救急車に同乗・出動した。

【実績】救急車同乗・出動件数

H24	H25	H26	H27
3件	5件	4件	2件

○より症状の重い患者に救命救急センターの医師が対応できるよう、一般社団法人酒田地区医師会十全堂（以下「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間救急外来（小児を含む。）を酒田市の財政支援のもと継続して行った。

【実績】救命救急センター受診状況

		H24	H25	H26	H27
延べ患者数		23,979名	24,653名	24,012名	25,039名
酒田地区医師会 診療支援	小児(延べ)	(743名)	(639名)	(581名)	(624名)
	成人(延べ)	(1,715名)	(1,582名)	(1,280名)	(1,250名)

※（ ）内は、「延べ患者数」の内数である。

b) がん医療(日本海総合病院)

○がん患者の運動器の低下や生活機能の低下予防・改善を目的として、平成27年9月からがん患者リハビリテーションを開始した。

【実績】がんリハビリテーション料

	H27
	実患者数 回数(単位数)
日本海総合病院	136名 1,784単位

○がん診療の強化のため、山形県市町村職員互助会との検診委託契約や酒田市ふるさと納税での検診コース導入により、PET/CT検診の拡大に努めた。

【実績】PET/CT検査(検診)件数

	H24	H25	H26	H27
検査件数	442件	811件	819件	975件
(うち検診件数)	(22件)	(186件)	(112件)	(148件)

○手術、放射線療法及び化学療法を、効果的に組み合わせて治療を行った。

【実績】手術、放射線療法、外来化学療法の件数

	H24	H25	H26	H27
手術	1,123件	1,117件	1,068件	1,117件
放射線療法	7,793件	7,928件	6,726件	7,959件
外来化学療法	3,092件	4,922件	3,739件	4,337件

※「外来化学療法」の件数は、延べ実施件数である。

○緩和ケア医療の充実を図るため、緩和ケア内科を新規に標榜した。

【実績】病棟回診延べ患者数、緩和ケア外来患者数

	H24	H25	H26	H27
病棟回診	367名	449名	457名	441名
緩和ケア外来	105名	168名	101名	168名

○地域医療構想において、高度急性期及び急性期病院を目指す方針としたことから、緩和ケア病棟は設けずに対応することとした。

○セカンドオピニオン外来を、次のとおり行った。

【実績】実施件数

	H24	H25	H26	H27
4件(がん3件)	11件(がん10件)	7件(がん7件)	11件(がん7件)	

※()は、内数である。

○地域がん診療連携拠点病院として、次のとおりがん登録を行った。

【実績】がん登録件数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
院内がん登録	1, 6 8 4件	1, 7 0 5件	1, 5 8 9件	1, 3 7 9件
地域がん登録	1, 6 5 3件	1, 6 8 0件	1, 5 4 9件	1, 3 8 9件

○研修を修了した5名のがん相談員（看護師2名、社会福祉士3名）により相談を実施し、患者及び家族の支援を行った。

【実績】がん相談件数

H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
8 1 8件	1, 2 0 4件	9 6 3件	1, 0 4 1件

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

○脳卒中、急性心筋梗塞の救急搬送患者に対しては、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療の実施を図った。また、術後の速やかなリハビリテーションの開始により患者の機能回復に努めた。

○専門的医療やC T、MR I 検査の24時間対応を継続した。

【実績】脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血で実施した件数

機器	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
C T	1, 0 1 5件	9 3 4件	7 3 0件	7 2 5件
MR I	8 1 9件	9 2 9件	8 4 4件	8 7 7件

【実績】心筋梗塞、狭心症で実施した件数

機器	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
C T	2 5 5件	2 6 5件	3 3 1件	3 2 8件
MR I	4 0件	3 1件	1 8件	2 5件

○日本海総合病院は急性期リハビリテーションの充実を図り、酒田医療センターの回復期リハビリテーションとの連携強化を図った。

【実績】心大血管疾患リハビリテーション料 I

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)
日本海総合病院	422名 9,196回	534名 12,453回	689名 17,556回	698名 16,770回

【実績】脳血管疾患リハビリテーション料 I

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)
日本海総合病院	1,303名 44,118回	1,400名 43,956回	1,492名 49,034回	1,146名 48,726回
酒田医療センター	243名 40,963回	269名 48,761回	375名 66,175回	323名 85,823回

○患者の早期回復を図るため、日本海総合病院において休日の心大血管リハビリテーションを継続して実施した。

【実績】休日の実施件数等

H 2 6			H 2 7		
延べ患者数	回数	日数	延べ患者数	回数	日数
1,341名	1,571回	121日	1,407名	1,542回	123日

※理学療法士と病棟看護師が実施した数の合算

d) 糖尿病(日本海総合病院)

○チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の治療を継続して行った。

【実績】教育入院患者数

H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
83名	52名	65名	66名

【実績】個別栄養指導件数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
入院	239件	252件	300件	298件
外来	336件	327件	400件	396件
合計	575件	579件	700件	694件

○糖尿病教室を次のとおり開催した。

【実績】開催回数、参加人数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
開催回数	12回	14回	16回	19回
参加人数	45名	44名	55名	65名

○看護師と管理栄養士が共同で、次のとおり糖尿病透析予防指導を行った。

【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
実患者数	2名	25名	30名	14名
指導回数	5回	55回	73回	32回

e) 回復期リハビリテーション(酒田医療センター)

- 回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士4名、作業療法士2名をそれぞれ増員し29名体制とした。
- 土・日・祝日等、休日も休むことなくリハビリテーションを提供する体制を整え、休日リハビリテーションを実施した。

【実績】 休日リハビリテーション実施状況（5月1日～）

	延患者数	回数(単位数)	実施日数
回復期リハビリテーション	6,746名	17,736単位	114日

- 外来及び通所リハビリテーション(デイケア)の利用者拡大を図った。

【実績】 リハビリテーション科の延べ患者数

	H24	H25	H26	H27
入院	11,366名	11,776名	23,256名	24,588名
外来	284名	392名	534名	559名

【実績】 リハビリテーションの実施状況

	H24	H25	H26	H27
	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)	実患者数 回数(単位数)
外来リハビリテーション	9名 299回	18名 498回	13名 433回	20名 627回
通所リハビリテーション		20名 1,040回	22名 1,651回	29名 1,752回

※「通所リハビリテーション」の「回数(単位数)」は、利用者の通所回数である。

f) 在宅医療支援及び療養支援

- 日本海総合病院では、地域医療室及び医療連携室の看護師7名又は社会福祉士3名が、地域の介護・福祉・医療機関及び患者との退院調整業務を行った。
- 酒田医療センターでは、看護師2名体制で、退院調整及び入院前面談等を行った。

【実績】 退院調整(日本海総合病院)

	H24	H25	H26	H27
他病院	875件	953件	984件	893件
在宅	522件	492件	416件	450件
介護老人保健施設	70件	84件	98件	101件
介護老人福祉施設	154件	110件	118件	92件
ショートステイ	89件	101件	82件	75件
有料老人ホーム	115件	130件	112件	151件
その他	81件	61件	69件	62件
合計	1,906件	1,931件	1,879件	1,824件

【実績】退院調整（酒田医療センター）

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
他 病 院	28件	33件	38件	39件
在 宅	177件	231件	324件	309件
介護老人保健施設	39件	41件	24件	22件
介護老人福祉施設	5件	1件	3件	4件
ショートステイ	11件	8件	10件	18件
有料老人ホーム	21件	12件	13件	20件
そ の 他	8件	4件	2件	1件
合 計	289件	330件	414件	413件

【実績】入院前面談件数（酒田医療センター）

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
入院前面談件数	3 9 7 件	4 9 6 件	5 3 5 件	4 3 4 件
うち入院患者数	3 7 7 名	4 7 1 名	5 0 6 名	4 0 8 名

- 在宅患者及び介護・福祉施設の入所者に対して、かかりつけ医及び介護支援専門員・福祉施設職員と連携して医療支援を行った。
- 酒田医療センターと酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」は、互いの協力が必要な患者において、酒田医療センターの空床状況を提供するなど、それぞれの情報を交換し、より適切な対応をとることができるよう連携を図った。
- 在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」で開催した各種研修会や会議に、酒田医療センターの看護師、作業療法士等を講師として派遣し事業の連携を図った。

g) その他

- 日本海総合病院と酒田医療センターの両病院間における患者の移動のため、「げんき号」を定期便の他、必要に応じて臨時便を運行した。

【実績】利用実績

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
延べ乗車人数	4,057 名	3,975 名	3,751 名	3,307 名
乗 車 率	12.9%	12.7%	12.2%	10.8%

②災害時や健康危機における医療協力

- DMAT等の派遣要請を要する災害等が発生しなかったため、医療救護活動を行うことはなかったが、災害発生に備え、各種訓練や研修会に積極的に参加し出動態勢を整えた。
- 酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」は、酒田市長選挙のため中止となったが、災害発生時に備え、他の機関が実施した災害医療訓練又は研修に、次のとおり参加した。

訓練実施日	会 場	訓練・研修名	参加人数
H27. 8. 8	庄内空港	山形県災害時医療救護訓練	13名
H27. 8. 22～23	新潟市	DMA T技能維持研修（東北ブロック）	12名
H27. 8. 31～9. 1	東京都	総合防災訓練	6名
H27. 10. 3～4	盛岡市	東北DMA T参集訓練	5名
H28. 1. 16～17	仙台市	DMA T技能維持訓練（東北ブロック）	9名
H28. 2. 9	山形県庁	広域災害救急医療情報システム（EMIS）研修会	1名

○他の機関が実施した災害医療訓練及び研修に、次のとおりインストラクターを派遣した。

研修実施日	会 場	訓練・研修名	派遣人数
H27. 8. 22～23	新潟市	DMA T技能維持研修（東北ブロック）	2名
H27. 8. 31～9. 1	東京都	総合防災訓練	2名
H27. 10. 3～4	盛岡市	東北DMA T参集訓練	2名
H28. 1. 16～17	仙台市	DMA T技能維持研修（東北ブロック）	2名

○SCU（航空搬送拠点臨時医療施設）の機能整備への協力として、山形県が所有する医療用資機材を日本海総合病院のDMA T資材庫で預かり管理を行った。また、山形県が実施した県災害時医療救護訓練の中で、庄内空港SCU活動を想定した訓練が実施され、日本海総合病院のDMA Tも参加した。

○災害発生時に備え、既存の「災害対策マニュアル」を改訂するとともに、災害対策委員会が主体となって、日本海総合病院全職員、委託業者及び地域の医療従事者を対象に、災害対応実動訓練等、災害医療研修を次のとおり実施した。

実施日	場 所	訓練・研修名	参加人数
H27. 5. 14	日本海総合病院 講堂	【研修会】 災害医療の基礎とトリアージ	153名
H27. 6. 25	日本海総合病院 エントランス	【研修会】 模擬患者を使ったトリアージ 協力：酒田地区広域行政組合消防本部	133名 (うち院外 21名)
H27. 7. 23	日本海総合病院 講堂	【研修会】 大規模災害発生時の日本海総合病院の 役割	122名
H27. 9. 12	日本海総合病院 エントランス	【訓練】 災害対応机上訓練 協力：酒田地区広域行政組合消防本部	97名 (うち院外 1名)
H27. 10. 17	日本海総合病院 エントランス	【訓練】 災害対応実動訓練 協力：酒田地区広域行政組合消防本部、 鶴岡市消防本部、県立新庄病院 DMA T、鶴岡市立庄内病院、 酒田市立看護専門学校	274名 (うち院外 38名)

○災害発生時に備え、災害対応に必要な物品を整備した。

機 器 名	メーカー	規 格	数 量
NBC防護服用吸引管	(株)ワコー商事	WAMK-1	6個
LED式懐中電灯	小泉成器(株)	FFL281J	3個
	パナソニック(株)	BFBS01PW	3個
トランシーバー用 バッテリー	バーテックススタン ダードLMR(同)	FNB-V87LI	2個
DMAT隊員用 ユニフォーム	(株)ノルメカエイシア	T-5300	3着
	(株)バートル	6103-3、6107-3	20着

○株式会社伊藤園と「災害時における飲料水等の供給に関する協定」を締結し、日本海総合病院に、地域貢献型自動販売機（災害救援型）を2台設置した。

○災害時においても、優先納入ができることを条件として物品購入契約を締結し、優先納入体制を維持した。

○新型インフルエンザ等対策特別措置法に規定する県の指定地方公共機関として、「庄内地域新型インフルエンザ等対策行動要領」の改定に参画した。

③政策医療の実施

○第二種感染症指定医療機関として、マニュアルの見直しを行うとともに、速やかな感染症患者の受け入れのため、関係機関とともに「庄内地域新型インフルエンザ等関係機関対策合同訓練」を実施した。

【実績】

実施日等	関係機関	参加人数
H27.10.23 日本海総合病院	山形県庄内保健所 酒田地区広域行政組合消防本部 庄交ハイヤー株式会社	71名 (うち関係 機関28名)

○「認知症疾患医療センター」を運営し、引続き認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等を行った。

【実績】相談件数

	H24	H25	H26	H27
新規相談件数	789件	733件	741件	591件
継続相談件数	286件	416件	355件	321件

○院内コーディネーター及び関係部門が参加し、脳死下臓器提供を想定した訓練を実施した。

【実績】

実施日等	研 修 内 容 等	参加人数
H28.1.23 日本海総合病院 講堂	「脳死下臓器提供シミュレーション」 東北大学メディカルメガバンク助教 戸子台 和哲 先生	27名

○臓器移植の提供施設として、日本臓器移植ネットワークと連携し、心停止下での臓器提供を実施した。

【実績】

実施日	臓器及び提供先
H28. 2. 11	腎臓（右） 山形大学医学部附属病院
女性 1 名	腎臓（左） JCHO仙台病院

○地域の小児医療機関の協力を得て、午後 5 時 15 分から午後 10 時まで、小児科医が救命救急センターに常駐し、地域の小児救急医療体制の確保に努めた。

○二次周産期医療を行う拠点病院として、周産期に係る比較的高度な産科医療を実施した。

【実績】 母体・新生児の救急受入れ患者数等

	H 2 6	H 2 7
救急受入患者（母体）数	7 名	5 名
救急受入患者（新生児）数	8 名	4 名
緊急帝王切開術数	2 2 件	2 7 件

④医療スタッフの確保及び資質向上

a) 医療人材の確保・育成

○医学生教育及び医師育成のため、臨床研修医、レジデント及びスチューデントドクター等を受入れた。

【実績】 臨床研修医等の年間受入れ人数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
臨床研修医	2 1 名	2 0 名	2 8 名	2 9 名
レジデント	1 6 名	2 3 名	2 8 名	2 2 名
スチューデントドクター（山形大学）	1 9 名	3 8 名	5 1 名	8 7 名
臨床医学修練生（東北大学）	1 名	2 名	0 名	2 名
地域医療実習生（東北大学）	4 名	4 名	5 名	4 名
都道府県拠点病院実習（自治医科大学）	—	—	—	1 名
地域保健実習（群馬大学）	—	—	—	1 名

○地方独立行政法人那覇市立病院の 2 年次臨床研修医 3 名と、日本海総合病院の 2 年次臨床研修医 6 名との間で、臨床研修医を相互に受け入れる交換地域医療研修を実施した。

○医師以外の医療スタッフの育成をするため、各種学校等の要請に基づき可能な限り実習生の受入れを行った。

【実績】 実習生等の受入れ状況

受入れ部署	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
看護部(酒田市立酒田看護専門学校含む)	89名	99名	100名	102名
薬剤部	0名	1名	1名	0名
検査部	0名	2名	2名	2名
リハビリテーション室(科)	13名	16名	18名	16名
ME室	0名	2名	3名	1名
栄養管理室	3名	4名	3名	5名
歯科口腔外科	3名	0名	6名	4名
医事課	3名	1名	2名	2名
医療連携室	2名	6名	5名	2名

○より質の高い看護を提供するため、次のとおり研修会を実施した。

実施日	対象者	参加人数	研 修 内 容 等
H27.6.18	H27年度 部署 研究者	21名	「看護研究(部署)：看護研究計画書を的確に書くことができる」 山形大学 医学部看護学科 基礎看護学講座 教授 片岡 ひとみ 氏
H27.6.18	H27年度 全看護 職員	175名	「文章の基本・課題レポートの書き方を学び、文章力を身につける」 山形大学 医学部看護学科 基礎看護学講座 教授 片岡 ひとみ 氏
H27.6.22	H27年度 個人研究 ラダー4 研究者	16名	「看護研究(部署)：看護研究計画書を的確に書くことができる」 山形大学 医学部看護学科 成人慢性期看護学講座 准教授 武田 洋子 氏
H27.8.21	レベル1 受講者	58名	「ヘンダーソンの看護理論を理解し実践できる」 酒田市立酒田看護専門学校 副学校長 草刈 妙
H27.9.17	レベル3 受講者	41名	「実習指導をするための効果的な知識・技術を習得し実践できる」 山形県立保健医療大学 看護学科助教 山田 香 氏
H27.11.13	H27年度 個人研究 ラダー4 研究者	15名	「統計処理ができ研究をまとめることができる」 山形大学 医学部看護学科 成人慢性期看護学講座 准教授 武田 洋子 氏
H27.11.11	H27年度 部署 研究者	21名	「統計処理ができ研究をまとめることができる」 山形大学 医学部看護学科 基礎看護学講座 教授 片岡 ひとみ 氏
H27.11.13	H27年度 全看護 職員	184名	「自己を知り他者を認め温かな人間関係の構築ができる」 東北公益文科大学 教授 國眼 眞理子 氏

- 2名の看護師が、がん放射線認定看護師養成研修を受講した。平成28年度には認定試験を受験することを予定している。
- 日本海総合病院に対するDMA T隊員養成のための研修の割り当てがなかったため、新たなDMA T隊員の育成は出来なかったが、現隊員の技能を維持するため、技能維持研修に延べ21名参加した。
- 多職種が協働し、効率的に良質な医療サービスを提供するため、栄養サポートチームや呼吸サポートチーム等によるチーム医療を推進した。
- 地域医療に貢献する優秀な看護師又は助産師を確保するため、新たに3名、合計10名の看護学生等に修学資金の貸与を行った。

b) 事務職員の確保と専門性の向上

- 係長級以上のプロパー事務職員に管理者研修を実施し、医療職とともに病院運営に関わる重要性を学び、また、OJT意識の醸成を図った。
- 外部講師による次のような研修会を開催し、医師事務作業補助者の専門知識の習得と資質向上を図った。

実施日等	研 修 内 容 等	参加人数
H27. 11. 12 日本海総合病院 講堂	第1回 診療報酬研修会 「DPC請求症例について現状とポイント」 株式会社ニチイ学館酒田支店 病院課長 橋場 千春 氏 フロントマネージャー 齋藤久美子 氏	109名 (うち医師事務作業 補助者17名)
H28. 3. 25 日本海総合病院 講堂	第2回 診療報酬研修会 「平成28年度診療報酬改定について」 株式会社ニチイ学館酒田支店 病院課長 橋場 千春 氏	139名 (うち医師事務作業 補助者22名)

⑤医療サービスの効果的な提供

a) 地域連携の推進

- 庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図り、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上の目標を達成した。

【実績】紹介率及び逆紹介率（通期）

	H24	H25	H26	H27
紹介率	61.5%	62.2%	47.2%	52.7%
逆紹介率	45.2%	47.2%	67.5%	77.8%

※地域医療支援病院における算出方法による。（歯科口腔外科を含む。）

- 他の医療機関との連携を図ることを目的に、各診療科、専門外来、紹介予約、PET/C T検査及びちようかいネット等の案内を収録した「診療のご案内2015」（冊子）を作成し、県内及び秋田県・新潟県の一部の病院、診療所に配布した。

○日本海総合病院は、山形県立こころの医療センターと平成26年度から締結している「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」及び「医療観察保護法対象者の入院受入協定書」に基づき、医療観察法病棟等に入院した患者で、急性期医療が必要となった患者等の受入れに、引き続き備えた。

○地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努めた。

【実績】指導件数（日本海総合病院）

	H24	H25	H26	H27
退院時共同指導	57件	53件	73件	68件
介護支援連携指導	660件	775件	795件	877件

【実績】指導件数（酒田医療センター）

	H24	H25	H26	H27
退院時共同指導	0件	0件	0件	0件
介護支援連携指導	38件	32件	41件	58件

b) ITネットワークの活用（「ちょうかいネット」の活用推進）

○平成23年4月から稼働した「ちょうかいネット」について、利用する医療機関等の拡大を図った。新たに開示施設としてやまがた健康推進機構と連携し、健診情報の共有に向けて協議を行った。

【実績】利用状況 ※各年度の3月31日現在

	H24	H25	H26	H27
病院	15施設	16施設	17施設	20施設
医科診療所	53施設	61施設	62施設	63施設
歯科診療所	6施設	9施設	14施設	15施設
調剤薬局	11施設	13施設	13施設	17施設
介護老人保健施設	4施設	5施設	6施設	7施設
訪問看護ステーション	2施設	3施設	3施設	5施設
介護事業所	0施設	1施設	29施設	31施設
その他	1施設	1施設	1施設	2施設
利用施設 合計	92施設	109施設	145施設	160施設
延登録患者数	6,669名	11,335名	15,828名	20,817名

c) 地域連携クリティカルパスの活用

- 「ちようかいネット」を活用し、大腿骨頸部骨折、5大がん、前立腺がん、脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数の増加に努めるとともに、病診連携を考慮した心臓リハビリテーションクリティカルパスを引き続き運用した。

【実績】 地域連携クリティカルパス適用件数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
肺 が ん	0 件	0 件	0 件	0 件
大 腸 が ん	1 3 件	1 9 件	2 1 件	1 5 件
肝 が ん	0 件	0 件	0 件	0 件
乳 が ん	2 4 件	1 8 件	1 4 件	1 7 件
胃 が ん	9 件	2 7 件	1 9 件	2 4 件
大腿骨頸部骨折	1 0 5 件	1 1 8 件	1 4 4 件	1 1 0 件
脳 卒 中	9 2 件	2 9 0 件	2 4 6 件	2 2 6 件
心臓リハビリテーション			8 7 件	1 1 2 件
前 立 腺 が ん			1 7 件	4 8 件

⑥庄内地域における医療水準の向上

- 診療業務のため鶴岡市立庄内病院、酒田市立八幡病院、医療法人健友会本間病院に医師を派遣する等、庄内地域の他の医療機関との交流及び連携強化を図った。
- 平成23年度から日本海総合病院内に開設されている、山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、継続して調査活動に協力した。
- 日本海総合病院は、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として93名の看護学生を受入れるとともに、他の専門学校等からも8名の看護学生を受入れた。
- 看護師1名を、群馬県立健康科学大学「看護教員養成課程」に派遣し、看護教員として育成した。
- 地域の医療従事者を含め、次のような研修会等を開催した。

実施日等	研 修 内 容 等	参加人数
H27. 6. 12 日本海総合病院	感染症研修会 「真菌症治療と管理の最前線」 千葉大学真菌医学研究センター病原真菌研究部門 臨床感染症分野 教授 亀井克彦 氏	2 5 7 名 (うち院外6名)
H27. 7. 22 日本海総合病院	緩和ケア勉強会 「がんの痛みを緩和する」 日本海総合病院 診療部長 菅原浩 同 薬剤部 薬剤専門員 阿部美佐緒	1 1 2 名 (うち院外29名)
H27. 8. 7 日本海総合病院	緩和ケア勉強会 「がん疼痛治療科の最前線」 がん研究有明病院 緩和ケアセンター 緩和・がん疼痛治療部 部長 服部政治 先生	1 1 0 名 (うち院外25名)

H27. 10. 20 日本海総合病院	感染症研修会 「B型肝炎再活性化対策講演会」 能代山本医師会病院 消化器内科 科長 渡辺大亮 先生	60名 (うち院外5名)
H27. 10. 23 日本海総合病院	感染症研修会 「新型インフルエンザ等発生時に備えた院内感染対策」 山形大学医学部附属病院 検査部長 森兼啓太 先生	246名 (うち院外62名)
H27. 11. 4 日本海総合病院	緩和ケア勉強会 「脊椎移転の患者さん！・・・どう対処する？ ＝すべきこと／してはいけないこと＝」 日本海総合病院 診療部長 尾鷲和也 同 放射線科 科長 三輪弥沙子	118名 (うち院外31名)
H27. 12. 4 日本海総合病院	認知症疾患医療センター 「認知症と薬物療法／非薬物療法」 日本海総合病院 精神科 科長 澁谷譲 社会福祉法人さくら福祉会 つどいの家若浜 所長 阿部涼子 氏 地域包括支援センターあけぼの 所長 碓谷真弓 氏 遊佐町地域包括支援センターゆうすい 主任介護支援専門員 佐藤ひとみ 氏	169名 (うち院外135名)
H28. 1. 13 日本海総合病院	緩和ケア勉強会 「せん妄診療 advanced」 日本海総合病院 精神科 科長 澁谷譲	97名 (うち院外24名)
H28. 1. 22 日本海総合病院	感染症研修会 「血液培養について」 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 塩浦真紀 氏	393名 (うち院外0名)

○地域連携緩和ケア協議会を3回開催し、延べ138名（うち院外は延べ43名）が参加してワークショップ形式による症例検討を行った。

⑦住民の意識の啓発

○地域住民を対象に市民公開講座を開催し、乳がんに関する情報提供を行った。

実施日等	研修内容等	参加人数
H27. 8. 23 ホテルリッチ&ガーデン酒田	「乳がん治療－最近の話題－」 日本海総合病院 診療部長兼乳腺外科部長 天野吾郎 「乳房再建術について」 日本海総合病院 診療部長兼形成外科部長 柏英雄 「キレイの魔法」 石巻赤十字病院 ソシオエステーション 瀬戸真由美 氏	206名

○患者、地域住民向け及び関係者向け広報誌「あきほ」を年間4回発行し、住民等の医療や健康等に対する意識の啓発に努めた。

○他の機関等が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等について、講師の派遣を積極的に行った。

実施日等	事業内容等
H27. 5. 27	平成 27 年度 酒田市健康講座
H27. 6. 24	①「足の動脈硬化症について」 循環器内科 科長 近江晃樹
H27. 7. 8	②「ひざの痛みの治療法」 診療部長(兼)整形外科部長 針生光博
生涯学習施設「里仁館」	③「口の中の病気を防いで健康になろう」 歯科口腔外科部長 櫻井博理
H27. 7. 25 庄内町文化創造館 響ホール	平成 27 年度 神経難病の方の医療福祉相談会 「家で安心して生活するために ～病院と在宅医療との連携について～」 診療部長(兼)神経内科部長 鈴木義広

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

○待ち時間対策を含めた患者サービス向上対策の一環として、エントランス機能向上対策プロジェクトチームを立上げ、エントランスのリニューアルを行い、併せて、医療提供に伴う運用の変更等を行った。

○外来採血室に、採血・採尿受付システムを導入し、検査待ち時間の大幅な短縮を図った。

○患者満足度向上委員会において、患者満足度アンケートを実施し、患者ニーズの把握に努めた。(外来で979件、病棟で248件の回答があった。)また、患者サービス向上の取り組みとして医療技術職員を中心に接遇マナー研修会(45名参加)を実施した。

○SNS(フェイスブック、ツイッター)での情報発信と共に、ホームページのコンテンツの見直しを行い、発信力の強化を図った。

○設備などの改修・補修を行い、次のとおり院内環境の整備を図った。

整備箇所等	整備内容
外来2階床改修工事	床材のはがれ等劣化が進んでいるため、張替えを実施した。
小児科診察室建具改修工事	既存棟の外来診察室の扉は押し扉で、入り口部分も狭かったため、車イス等が出入りしやすいよう引き戸に改修を行った。
特別室改修工事	既存病棟(4階東西、5階東西)の特別室のユニットバス及びキッチンが劣化しているため、改修を行った。

○平成20年度から継続して重症心身障がい児(者)短期入所事業を行った。

【実績】延べ利用者数

H24	H25	H26	H27
28名	14名	21名	21名

○病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「あきほ病児・病後児保育所」において継続して当該事業を行った。また、酒田市以外の乳幼児等も受け入れた。

【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
延べ利用者数	3 0 4名	2 3 3名	2 9 1名	2 6 3名
(うち酒田市以外の乳幼児)	—	—	—	(2名)

○地域交流事業として9月に「あきほ祭り」を催し、酒田地区医師会に加え鶴岡地区医師会の協賛によるバザーを開催した。また、展示即売施設「あきほ市」については、常設即売施設として継続して運営を行った。

(4) 法令等の遵守と情報公開の推進

○平成24年度に定めた基本理念等を、職員研修の場で周知を図るとともに、「病院概要」や「診療のご案内」、また、ホームページ等も活用し、内外に広く周知を図った。

○新規採用職員(42名)と看護部職員(717名)に重点を置き、セキュリティ研修を実施した。対象者759名のうち、507名が受講した。

○「ちょうかいネット」を利用している医療機関等に対し、情報セキュリティ研修を実施した。対象施設105施設のうち、14施設27名が受講した。

○インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行った。

【実績】診療情報提供申出件数

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
日本海総合病院	4 9件	7 0件	6 4件	7 4件
酒田医療センター	7 件	2 件	2 件	3 件

(5) 医療安全対策の充実・強化

○患者安全管理体制の推進・強化を図るため、医療安全対策委員会を中心に次のような活動を行った。

実施日等	研修内容等	参加人数
H27. 9. 7 日本海総合病院講堂	「睡眠薬の適正使用」 エーザイ株式会社 エーザイ・ジャパン地域包括 h h c ユニット総合マーケティング部 小野田 智 氏	187名
H27. 9. 7 日本海総合病院講堂	「医療事故調査制度」講演会 ①「医療事故調査制度成立までのあらすじと現状」 医療法人尚愛会理事長 日本医療法人協会 常務理事 医療安全部会長 小田原良治 先生 ②「医師法21条正論「外表異状」と医療安全パラダイムシフトの結晶「非識別加工」」 医療法人社団につき会 ハートクリニック 院長 佐藤一樹 先生 ③「予期しなかった死亡の判断基準（医療事故と医療過誤の取扱いの違いを踏まえて）」 井上法律事務所 所長 井上清成 氏	214名 (うち院外54名)
H28. 2. 22 日本海総合病院講堂	「当院インシデント事例より学ぶ～コメディカルからの発信～」 輸血室、臨床検査室、放射線MR室、ME室	231名

○医療安全管理者を中心に、各部署の医療安全推進者（リスクマネージャー）と連携しながら、インシデントの事例共有、分析、改善策を検討し、医療安全対策の一層の向上に努めた。

2 人員配置の弾力的運用

(1) 負担軽減

○医師の負担軽減を図るため、引続き各病棟などに医療クラークを配置した。

【実績】医療クラークの配置数

H24	H25	H26	H27
59名	54名	52名	60名

○看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を配置した。

【実績】補助者の配置状況

	H24		H25		H26		H27	
	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者
病棟	66名	14名	67名	16名	64名	12名	60名	12名
その他	18名	8名	20名	11名	22名	18名	20名	18名
合計	84名	22名	87名	27名	86名	30名	80名	30名

○病棟看護師の負担軽減に資するため、平成27年11月から、4階南病棟において二交代制勤務の試行を開始した。

(2) 障がい者雇用

○障害者雇用促進法に基づき、障がい者の雇用促進及び有効活用に努めた。

【実績】雇用率

H25	H26	H27
0.65%	1.47%	1.71%

3 施設整備及び医療機器等の整備計画

(単位：百万円)

区 分	執行額	財 源
資本支出		設立団体からの長
建設改良費	669	期借入金、出資(出
医療機器整備	571	資債) 及び自己資
その他(改修工事等)	98	金

(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備

○高度専門医療等の充実のため、平成27年度は次のとおり高度医療機器の更新・整備を行った。

診療科	機 器 名	備 考
放射線部	循環器系X線診断装置	更新
放射線部	デジタルX線TVシステム	更新
検 査 部	採血採尿受付システム	新設
内 科 リハビリテーション科	薬剤管理支援システムほか	更新 (酒田医療センター)

(2) 建物総合診断

○将来の大規模修繕を見据えて実施した建物総合診断の結果を踏まえ、中長期修繕計画を策定した。

4 患者動向と収支の実績

平成27年度における患者数と収支は、次のとおりであった。

(1) 患者数

区 分	日本海総合病院			酒田医療センター			計		
	H 2 6	H 2 7	増減	H 2 6	H 2 7	増減	H 2 6	H 2 7	増減
延入院患者数 (人)	185,273	190,458	5,185	34,237	35,486	1,249	219,510	225,944	6,434
実入院患者数 (人)	16,295	16,252	△43	625	573	△52	16,920	16,825	△95
入院/1日 (人)	507.7	520.4	12.7	93.8	97.0	3.2	601.5	617.4	15.9
病床利用率 (%)	78.6	80.6	2.0	82.3	85.0	2.7	—	—	—
病床回転率 (%)	266.8	260.7	△6.1	53.9	49.5	△4.4	—	—	—
平均在院日数 (日)	11.4	11.7	0.3	56.4	61.6	5.2	—	—	—
延外来患者数 (人)	333,249	340,823	7,574	828	810	△18	334,077	341,633	7,556
新外来患者数 (人)	29,807	32,318	2,511	43	59	16	29,850	32,377	2,527
外来/1日 (人)	1,365.8	1,402.6	36.8	3.4	3.3	△0.1	1,369.2	1,405.9	36.7
病床数 (床)	646	646	0	114	114	0	760	760	0

(2) 患者一人当たりの診療単価

(単位：円)

日本海 総合病院	H 2 6	H 2 7	増 減	酒田医療 センター	H 2 6	H 2 7	増 減
入 院	61,012	62,990	1,978	入 院	24,101	26,555	2,454
外 来	13,055	14,713	1,658	外 来	3,067	3,574	507

(3) 予算及び決算

(単位：百万円)

区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)
収入	20,772	22,097	1,325
営業収益	17,762	19,122	1,360
医業収入	17,157	18,537	1,380
運営費負担金	605	585	△ 20
営業外収益	1,095	1,106	11
運営費負担金等	924	912	△ 12
その他	171	194	23
資本収入	1,913	1,865	△ 48
金銭出資の受入	1,235	1,236	1
長期借入金	678	629	△ 49
その他の収入	2	5	3

(単位：百万円)

区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)
支出	19,936	20,511	575
営業費用	16,787	17,403	616
医業費用	16,590	17,218	628
給与費	8,987	9,129	142
材料費	4,457	5,056	599
経費	3,031	2,954	△ 77
研究研修費	115	78	△ 37
一般管理費	197	185	△ 12
営業外費用	361	353	△ 8
資本支出	2,787	2,754	△ 33
建設改良費	704	669	△ 35
長期借入金返還金	2,078	2,079	1
修学資金貸付	5	6	1
その他の費用	1	1	0

※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。

(4) 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)
収 入	18,824	20,226	1,402
営業収益	17,736	19,103	1,367
医業収益	17,125	18,508	1,383
運営費負担金収益	605	585	△ 20
資産見返補助金等戻入	6	10	4
営業外収益	1,086	1,098	12
運営費負担金収益	924	912	△ 12
その他医業収益	162	186	24
その他の収入	2	25	23
支 出	18,789	19,416	627
営業費用	17,863	18,377	514
医業費用	17,679	18,205	526
一般管理費	184	172	△ 12
営業外費用	915	966	51
その他の費用	11	73	62
純 利 益	35	810	775

(5) 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)
資金収入	37,647	31,826	△ 5,821
業務活動による収入	18,895	19,897	1,002
診療業務による収入	17,158	18,218	1,060
運営費負担金による収入	1,529	1,497	△ 32
補助金等収入	38	52	14
その他の業務活動による収入	170	130	△ 40
投資活動による収入	13,525	6,525	△ 7,000
補助金等収入	25	25	0
有価証券の売却による収入	13,500	4,000	△ 9,500
定期預金の払出による収入	0	2,500	2,500
その他の投資活動による収入	0	0	0
財務活動による収入	1,913	1,865	△ 48
長期借入による収入	678	629	△ 49
金銭出資の受入による収入	1,235	1,236	1
前年度からの繰越金	3,314	3,539	225
資金支出	33,462	27,603	△ 5,859
業務活動による支出	17,170	17,264	94
給与費支出	9,053	9,105	52
材料費支出	4,457	5,072	615
その他の業務活動による支出	3,660	3,087	△ 573
投資活動による支出	14,209	8,260	△ 5,949
有形固定資産の取得による支出	704	754	50
有価証券の取得による支出	13,500	4,000	△ 9,500
定期預金の預入による支出	0	3,500	3,500
その他の投資活動による支出	5	6	1
財務活動による支出	2,083	2,079	△ 4
長期借入の返済による支出	865	866	1
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,213	1,213	0
その他の財務活動による支出	5	0	△ 5
翌年度への繰越金	4,185	4,223	38

5 その他業務運営に関する事項

(1) 就労環境の整備

- 「あきほ保育園」では、年末・年始（12月29日から1月3日）を除き、24時間保育を実施した。
- 病児・病後児保育事業を引続き酒田市から受託し、当該事業を活用し職員の子育て支援を行った。

【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数

	H24	H25	H26	H27
延べ利用者数（再掲）	304名	233名	291名	263名
（うち職員利用者数）	（85名）	（104名）	（105名）	（96名）

(2) 人間ドック・検診における連携

- 日本海総合病院では、酒田市が実施した「内視鏡ドック（PET検診含む）」のうち上・下部内視鏡、胸部CT及びPET/CTを継続して担った。

【実績】内視鏡ドックの実績

	H24	H25	H26	H27
上部内視鏡	138件	143件	142件	122件
下部内視鏡	138件	143件	142件	121件
胸部CT	139件	143件	142件	123件
PET/CT（再掲）	—	105件	49件	52件

- 酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構と役割分担を行いながら、連携して地域住民の検診を行った。
- 日本海総合病院は、酒田市へのふるさと納税の特典として、納税額に応じた3つの健診コースを設定し人間ドックを実施した。

【実績】

	内容	利用者数
20万円コース	PET/CT（半日）	10名
35万円コース	1泊2日	0名
50万円コース	2泊3日	2名

(3) 地球環境にやさしい病院づくり

- 日本海総合病院において、既存棟の外来・リハビリ・管理部門及び共用部を中心に、蛍光灯2,238本をLED照明に更新した。

(4) 酒田市飛島診療所への支援

- 日本海総合病院は、4～10月までの間、週1回、延17名の医師を派遣するとともに、飛島診療所の救急患者対応を支援し、2名の患者をドクターヘリで受入れた。

(4) その他

- 設立団体と協議を行いながら、第3期中期計画を策定した。また、基本構想等の再検討については、山形県の地域医療構想策定作業の動向や地域医療の動向を踏まえ、必要に応じて検討を行うこととした。
- 平成27年11月6日(金) ホテルリッチ&ガーデン酒田において第4回全国地方独立行政法人病院協議会総会を開催し、全国の会員病院と情報交換を行った(参加人数168名)。
- 日本海総合病院が、地域医療の確保に重要な役割を果たし、経営の健全性も確保されている病院であることが評価され、全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会両会長から表彰を受けた。